

心豊かな暮らしが育む伝統文化。



都路の歴史をうつす文化遺産。
人々の暮らしの中に息づく伝統。
これらを絶やすことなく、
守りつづける心やさしい人々がいます。



縄文人の暮らしをいまに伝える「古代の村」。人々の心のよ
りどころとして、いまも優しい
まなざしで村を守る圓寿寺の
「阿弥陀如来」。樹齢300年
を超える木々が天に向かってそ
びえ立つ「西戸の森」。往時よ
りこの桜の開花をめやすにそ
の年の農作業をはじめたと伝
わる「馬酔木沢の桜」。古道小
学校のごもたちを優しく見
守る樹齢200年の「笠松」。

室町時代、この地に陣をとり、
その目印に植えられたと伝わ
る「陣場の松」。今年の秋の美
りに感謝し、来年の五穀豊稔
を祈願しながら天日鷲神社に
奉納された「岩井沢三匹獅子
舞」…。

都路には、古から人々の手によ
つて守られてきた文化財や伝
統芸能が数多く残されていま
す。これは心豊かな人々が住
む村の証です。このかけがえの

ない伝統と文化の香りをわた
したちの時代で絶やすことなく、
未来へと引き継ぎながら、また
新たな伝統と文化を育んでい
きたいと思えます。

